

## 解答用紙

受験者 氏名	しゅくにゃん
-----------	--------

受験者シールのバーコードシール  
1枚をこの上に貼り付けてください。

【設問1】 事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

冒頭で会社をやめようか迷っていたが、役職定年を迎えた先輩の別人になった様子を見て怖くなったり、制度を定めた会社に対する不満を感じ、納得できず早期退職を迷っている点。

【設問2】 事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答したと考えるかを記述せよ。

良 冒頭で会社をやめようか迷っていたCLの話を傾聴し、除々に信頼関係が築けた。  
悪 役職定年になることでCLが感じている思いを語り、ため迷う気持ちに問いかけられている。

【設問3】 あなたが考える相談者の問題(①)とその根拠(②)について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

① 問題 キャリアを積んできたCLが役職定年を迎え、目指してきた部長職になることができないことに対して納得しておらず、早期退職を利用してやめようかと考えている点。

② その根拠 ロールモデルとした先輩が役定後、別人のようになっことは「怖くなった」とまどいを感じ、会社に対して「納得いかない」という点から会社に対する不信感があるように現れられる。また早期退職後のキャリアについて考える前にやめようと考えているように現れられる。

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

冒頭で役職定年後にロールモデルの先輩の人の変わった様子を見てまどっているCLの話を傾聴し、信頼関係の構築に努める。そのうえで、役職定年を迎えることで「部長にあがっちゃえば良い」というCLに問いかけることで、CLの役職に対する思いや制度に対する考えを改めて問いかけ、内容を深めていく。また早期退職についてどうしてやめようと思われているのか問いかけ、退職した場合のセカンドキャリアについても問いかけながらやめようと感じる気持ちを語り、最終的には主体的にセカンドキャリアを選択できるよう支援する。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。